

「食べる」ことから 健康寿命を考える

近年、平均寿命の延伸に伴い健康寿命との差が拡大しています。

この2つの寿命が解離する一因として、

「食べる・飲み込む」ことの障害、「摂食嚥下障害(せつしょくえんげしょうがい)」が注目されています。

◎超高齢社会日本が抱える問題は？ ◎摂食嚥下障害は予防できるの？ 発見できるの？

本講演会を通して摂食嚥下障害を予防することは、

特別な事でなく日常生活の一部であると再認識していただけると幸いです。

平成**29**年**3**月**5**日(日)
午後1時30分開演(午後1時開場)
桑名市民会館 2階小ホール

入場無料
申込不要

手話通訳・磁気ループ
要約筆記あり

講師／藤田保健衛生大学医学部 歯科 谷口裕重先生



2004年愛知学院大学歯学部を卒業後、
2008年に新潟大学医歯学総合研究科
で歯学博士を取得する。

その後、新潟大学医歯学総合病院 助教
(2008年～2010年)、講師(2010年～
2015年)、アメリカ ジョーンズホプキンス
大学 ポストドクター(2012年)を経て、
2015年から藤田保健衛生大学医学部
歯科 講師を務める。

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認
定医、日本老年歯科学会認定医、摂食機
能療法専門歯科医師。



主催
問合せ先

桑名市中央地域包括支援センター
一般社団法人 桑員歯科医師会

☎0594-24-5104
☎0594-22-3517